

元栗橋新田地区で「かがり火」が行われました

1月12日の夕方、元栗橋新田地区で「かがり火」が行われ、新田地区の約110世帯の方々が参加しました。

このかがり火は、元栗橋新田地区にある「新成会」の主催で行われています。次世代に伝統文化を伝えたいと平成19年に約40年ぶりに復活してから、今年で8回目を迎えました。

当日は、大小2つのやぐらがつくられ、年男、年女が火を入れると、大きな炎が舞い上がりました。そして、各世帯から、しめ縄や熊手、破魔矢などを持ち寄って焼き、その火で繭玉だんごや餅を焼いて食べ、無病息災を願いました。



親と子のふれあい劇場が開催されました

2月2日、中央公民館講堂において、青少年相談員協議会・子ども育成会主催の親と子のふれあい劇場が開催されました。



今年度は、劇団トマト座による「ピノッキオの冒険」星に願いを...」が上演され、約100名の親子が、鑑賞しました。

この劇は、元気でわがままなわんぱく小僧のピノッキオが星の妖精ブルーノカによって、知恵と優しさをそなえた本物の人間の子供に変身する夢と感動の物語です。

本を読んだり、テレビなどでは味わえない迫力に、子どもたちは、どきどきしたり、わくわくしたりしながら舞台の上の役者さんに釘付けの様子でした。

歌やダンスで躍動感あふれる舞台を観て、親子で楽しいひと時を過ごすことができました。

夢について考える授業が五霞東・西小学校授業で行われました

1月14日、五霞町商工会の事業による、(財)日本サッカー協会の「JFAこころのプロジェクト」が五霞東小・五霞西小の5年生を対象に開催されました。

商工会のこの事業は、青年部のみなさんが「子どもたちに夢を持つことの大切さ、素晴らしさを伝えたい」と活動され、今回で4年目を迎えました。

このプロジェクトは、Jリーグ選手、OBなどを「夢先生」として小学校に迎え、「夢教室」と呼ばれる授業が行われました。

今回の夢先生を紹介します。

○小林慶行先生

元Jリーグ選手
ヴェルディ川崎をはじめ、大宮アルディージャなどでJ1リーグ300試合出場

○式田高義先生

元Jリーグ選手
市立船橋高校時代に全国高校サッカー選手権大会優勝

教室の時間は、サッカーと同じ90分で行われました。

前半は、夢先生と一緒に体育館で楽しく体を動かし、「仲間と協力することの大切さ」を学ぶ実技が行わ



小林先生(右)と式田先生(左)



体育館での実技



小林先生の授業風景

後半は、場所を教室に移して、夢について話す時間となり、先生のことこれまでの人生を曲線で表現し、挫折した話や夢がかなった話を通して、「夢を持つことの大切さ」などを児童たちに伝えました。